

# STEP3 知ってみよう!

Special Interview

## 鹿児島島の職業選択の現状

未だ厳しい経済状況の中、職探しにハローワークを訪れる人は年々増加の一途を辿っています。そんななか、性別による職業選択はどのように変化しているのでしょうか?厚生労働省鹿児島労働局雇用均等室長甲斐さんにお話を伺いました。



鹿児島労働局雇用均等室長 甲斐能枝さん

### Q1 男女の就労の形態にはどのような特徴がありますか?

男性は様々な職業に就いていますが、女性は特定の職業に偏っていますね。やはり、世の中で“女性向き”と言われている職業に集中しています(図1)。製造現場においても、女性がいることはありますが、研究者ではなく組み立てや検査部門など、仕事の中身が等しくはありません。職業における男女の就労率の差は、昔に比べれば解消されつつありますが、まだまだ女性の比率が少ない職業が多いですね。

### Q2 職業選択を拡げていくためにはどうしたらいいのでしょうか?

女性の採用が少ない理由を企業側に聞くと、資格や能力等の話になります。例えば工場での技術者にしても、電子や電気の学科を出ている人が欲しいと。昔に比べれば、理系の学科に進む女性も増えては来ましたが、まだまだ少ないですね。就職以前に、進学の時点でどのような学科を選択するかでその後の職業選択が変わって来ます。“女性の仕事はこういうもの”と、固定的に考えて進学→就職という流れになると、結局その後も女性の選択肢は広がらないですね。また、事務職に就く女性が多いのも、男性と同じように研究職や営業職に就く女性が少ないから。自分自身が仕事探しのときに、“女性向き・不向き”と限定して探すのではなく、幅広い視野を持って積極的にトライして頂きたいですね。

# 事業報告

## 女性への暴力を考える講演会

### 知っていますか? DVのこと



昨年11月12日、サンエールかごしまでは「知っていますか? DVのこと」と題した講演会が開かれ、50名以上の参加者が話を聴きました。講師は福岡で“女性による女性のための法律事務所”を設立された弁護士・原田直子先生。原田先生は「そもそもDVとは?夫婦げんかとの違いは何か?」ということから分かりやすく話されました。また、「未だ残る男尊女卑の文化や性別役割分担意識による女性軽視が暴力の温床になっている」とDVが起こる背景を説明。具体的な判例を用いながらのお話で、参加者も深く納得していました。「どのような事情があっても、暴力での解決は社会でも家庭でもいけないこと」という大前提を、もう一度確認できる講演会になりました。



## 料理を通して異文化交流

### グローバルクッキング ~スペイン編~



料理をしながら他国の文化を知ることができる「グローバルクッキング」。今回の講師はスペイン出身のカルロス・サイスさん。奥さんと娘さんも一緒に参加して頂き、スペインの家族の様子も聞くことができました。

一昔前まではスペインでも「男は仕事、女は家庭」という意識が強かったそう。しかし、今では家事は男女が協力し合うことが当たり前。そのおかげか、料理上手な男性が多いとか。他にもスペインの食生活など、様々な話を聞きながら調理開始。今回はスペインの家庭料理でもあるトルティージャ デ パタタス(スパニッシュオムレツ)とアルボンディガス コン サルサ デ トマテ(ミートボールのトマトソース煮)に挑戦しました。デザートにスペインの揚げ菓子・チュロスも頂き、大満足の日になりました。



## つなげよう 咲かせよう~明日へと続く絆の花~

### 第12回男女共同参画フェスティバル

毎年多くの来場者で賑わう「男女共同参画フェスティバル」。第12回目を迎える今年はテーマに「つなげよう 咲かせよう~明日へと続く絆の花~」を掲げ、1月27日~2月5日までの期間中に様々な催しが企画されました。1月28日にはテレビ朝日「モーニングバード」のコメンテーターとしても活躍中のノンフィクション作家・吉永みち子さんを招いての基調講演「自分を生きるということ」が行われました。吉永さんは「経済的にも精神的にも自立し、一人で生きられる人間が“自分を生きる”ということ。男女共同参画社会は、男性も女性も自分を生きている者同士が作る社会」と語られました。また、今回の基調講演では託児や「小学生のためのクワイア」などのキッズサポート企画もあり、育児中の父母も気軽に参加することができました。



▲講師の吉永みち子さん。軽妙な語り口で、会場には時折笑いも起こっていました



▲オープニングは「スベルパインダース」による華やかなダンス

他にも期間中は3本の映画上映をはじめ、身近な人の夢を応援し、自分の夢を再確認する「A4用紙に描くみんなの夢、わたしの夢」や自己尊重感を高めることができる「セパトレーニング」、手作りケーキと有機コーヒーを楽しみながら男女の違いを様々な視点で語る「しゃべくりカフェinサンエール12」、東日本大震災を通して人と人の絆を考える「結婚」と男女共同参画」など、多彩なワークショップが開かれ、参加者は有意義な時間を過ごしていました。



▲震災以降、変わりつつある結婚観についてグループワークを行いました



▲鹿児島国際大学の山田晋先生によるミニ講話も



▶イクメンを応援!パパと一緒に思いっきり遊ぶことができるイベントもありました



▲自分の夢をA4用紙に描いて発表。思わず笑顔がこぼれます♪



▲しゃべくりカフェでは男女の立場の違いを語り、自分はどうありたいのかを考えました

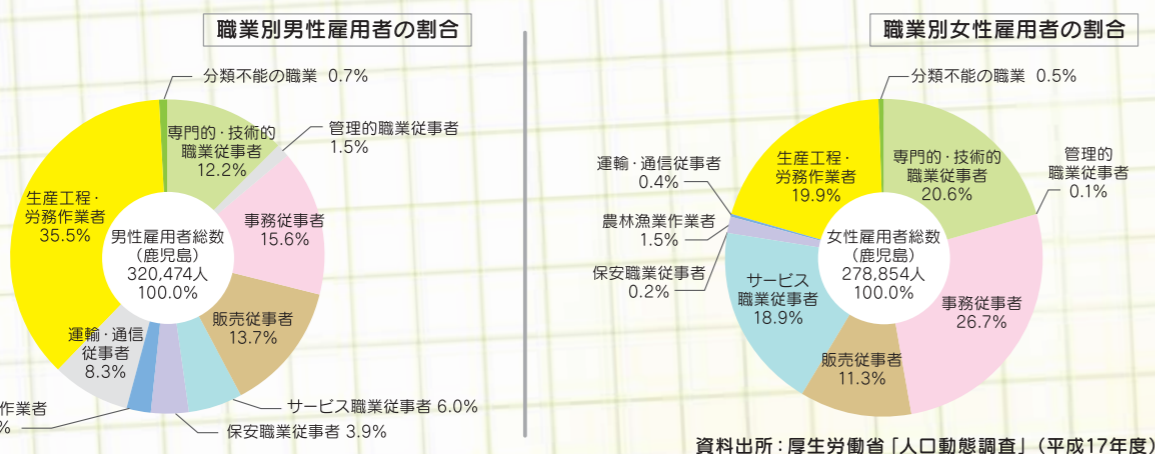


▲体をほぐし、心をじっくりほぐしていくセパトレーニング



▲木工クラフトでカードスタンドを制作中☆セパトレーニング

【図1】



## 相談窓口

- 【求職に関する相談】  
ハローワーク鹿児島 ☎099-250-6060
- 【男女雇用機会均等法に関する相談】  
鹿児島労働局雇用均等室 ☎099-222-8446
- 【急な解雇や不適切な労働条件に関する相談】  
鹿児島労働基準監督署 ☎099-214-9175
- 【職場でのトラブルなどの相談】  
鹿児島労働局  
総合労働相談コーナー ☎099-223-8239
- 【雇用・労働に関する相談】  
鹿児島市雇用相談室 ☎099-216-1329

## まとめ

女性運転士の中原さん、保育士の福富さんのインタビューを終えて感じたことは、2人とも「男性の職場」「女性の職場」ということをあまり意識していないということ。自分の与えられた仕事に対して一生懸命に取り組み、更なる向上を目指す姿が印象的でした。雇用均等室の甲斐さんも、「これからの社会は少数精鋭の時代。男女の性差を超え、本当に優秀な人物を企業は求めている」と話されています。「どんな仕事をしたいのか?」「自分を活かす働き方は?」など、自身のライフプランを想定した上で、ジェンダーにとらわれない職業選択が大切です。

